

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスぱぷりか		公表日		令和8年 2月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・3つの空間を活動別で使用するなどの工夫を行っている。 ・広さは不十分。限られた中で活動、支援に合わせて移動調整を行っている。	・もう少し利用者さんがのびのびと過ごすことのできるスペースが欲しい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・利用者さへのフォローやサポートが必要な際は、職員同士で声掛けし、体制を整えている。 ・人数は充分である。 ・平日は6人ほど配置されている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・視覚的にわかりやすく表示している。 ・同法人の整備課へ依頼し、工夫している。	工夫しているが、バリアフリー化はされていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・余暇時の空間分けを行い、静かに過ごしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別の部屋がないため、カーテンで空間を仕切る。 ・宿題に取り組めるように、個人用の机を準備している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・毎月の部会で行っている。 ・定期的な部会で個別対応等の統する機会を設けている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・定期的な面談、送り出し等にて意見を聞く機会を設けていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・日々のミーティングを行っている。 ・担当者会議を行いながら、支援の統一や情報の共有を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・今年度、第三者評価を受けている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・経験値別の研修を実施している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・作成し、HPに公表している。 定期的に見て、更新が必要な際は更新している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・アセスメントの共有を職員間で行っている。 ・成長と今後の課題を話し合い、反映している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・現場で話し合う時間もおり、必要な際は児発管と共有している。 ・月1回の部会で、共通理解を図る。 ・個々の現状や必要とする支援についての共通理解を		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・ファイリングをし、支援室に保管。いつでも確認できるようになっている。 ・計画を見る習慣をつけ、確認されてなければ職員間で声掛けを行う。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・アセスメントを使用したり、支援手順書を都度確認し、更新している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・個別支援計画に組み込まれている。 ・部会で利用者一人一人に対し、必要な項目を考え、計画に落とし込むようにしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・各職員の意見やアイデアを生かしながら立案している。 ・全体像を作り、その後の他職員とも話し合いその子に合った活動に取り組んでいる。 ・毎月子どもたちが楽しく学びがある活動ができるよう、チームで話し合い整えている。		

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・子どもたちの成長に合わせて、必要な内容と工夫し提供している。（SST活動等）	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・集団では協力ゲーム等を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日行っている。 ・状態整理等、大切なところをとらえ、打ち合わせや引継ぎを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後は難しいため、翌日に行っている。	・職員の退勤時間が同じではないことや、利用者が多くいることで支援後の話愛はできていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・細かく記載するよう職員間で、声掛けを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		基本的には半年に1回のペースですが、子どもたちの状況や保護者の要望に応じ、都度行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・部会でガイドラインの読み合わせを行い、意識して支援を行うようにする。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		言葉がない利用者さんに対しても、視覚的支援等を利用し、できるだけ自己決定できるように工夫している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		今年、現場の職員も参加できるよう調整を行った。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		状況に応じて、連携をとっていけるような体制はできていると思う。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・下校時刻は保護者と連携を取っている。また、必要な場合は担任とも連携をとるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・同法人の児童発達支援事業所と連携を取り、情報共有を積極的に行った。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・保護者を通じて計画の評価を渡してもらうよう、声掛けを行っている。	・移行支援会議に参加したことないため、今後参加していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			・連携を図ることはなかった。今後検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・児童クラブへの送迎は行っているが、交流は図れなかった。今後検討をしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		参加できていないため、機会があれば参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・毎日の送り出しの際、成長と課題を通えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・同法人内のデイで取り組んでいる。 ・家族会（家族のつどい）を行い、グループワークで情報共有や家族同士のつながりを深める機会を設けている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・児発管より丁寧な説明を行っている。また、契約書、重要事項説明書は玄関の入り口に掲示している。 ・児発管のみではなく、職員も把握できるように声掛けを行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・計画作成時に本人、家族の意向を聞き、個別支援計画に反映させている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・放課後等デイサービスの計画に基づいた支援内容を説明し、同意を頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・家族の要望、必要に応じこちらから声掛けを行い面談を実施している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・家族のつどいを開催し、保護者との親睦を深めている。	・兄弟時の集まりを開催していないため、今後機会を設けていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情については真摯に受け止め、職員間での情報共有を行い、迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・Instagramを活用し、日々の活動風景を発信している。 ・見ている人が楽しい気持ちになるよう、工夫している。 ・写真付きのお便り（ばぶりか便り）を作成し、配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・年に一度、保護者へ個人使用同意書を配布し、したがって取り扱っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・利用者の理解度に合わせた意思伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・地域に向けた事業運営は今のところ行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・保護者の見える位置（玄関）に配置している。 ・全体職員会で部署ごとにグループ分けを行い、発生を想定した訓練（机上訓練）を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・避難訓練（地震、火災）の活動を毎月取り入れている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・聞き取り票へ、てんかん発作、服薬がある場合は記入してもらっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者記入の聞き取り票を基に、アレルギーの有無を確認している。また、学園で給食提供の際は栄養士とも連携を努めている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・毎月の部会で安全計画を確認し、その都度必要な訓練、点検等を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・家族のつどいに参加された保護者へは口頭で説明を行った。	全員へ説明を行っていないため、面談など活動し、話を行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事故等対策委員会に放デイの職員も参加し、部署内で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・係りが虐待防止委員会へ参加。会議の内容を部署内で共有している。 ・毎月の振り返りシートや会議内で振り返り、常に意識できる取り組みを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・対象となる児童はいないが、係りが身体拘束適正委員会へ参加し、全体職員会で周知を行っている。		